

資源管理型漁業の取り組み



アユ資源保護のため 11月21日～30日は採捕自粛

また、天然河川での産卵量が30億粒未満と見込まれる時は、採捕自粛期間を設けて親魚を保護し、産卵量を増やしましょう。

アユの資源管理のため、漁業者自らが漁獲努力量を削減し、資源の維持・増大を図ります。
11月の漁期規制は、漁獲重量の増大と資源の保護につながります。
また、漁期後半の自粛で親魚を保護することにより、産卵量を増大させ、翌年の資源量の増加に寄与します。

滋賀県資源管理協議会